

調達件名：「マイナポータルアプリの運用・保守業務一式」

項番	種類	該当資料名	頁数	章番号等	仕様書等の記載内容	意見又は修正案の内容	意見又は修正案の提出理由	回答
1	確認・質問	調達仕様書（案）.pdf	2	1.3. 図 1-3 本アプリケーションのアーキテクチャ（Windows 版及び Mac 版）	ブラウザ（Windows:IE,Edge,Chrome, Mac:Safari,Chrome）	別紙1「業務一覧、物品一覧」の⑤ブラウザアップデート検証には「Chrome/Firefox/Edge/Safari動作確認」との記載がありますが対象ブラウザとしてはどちらが正しいでしょうか。	見横範囲を明確にするため	正確には以下のとおりですので、仕様書を修正します。  ブラウザ（Windows:FireFox,Edge,Chrome, Mac:FireFox,Safari,Chrome）
2	確認・質問	調達仕様書（案）.pdf	2	1.3. 図 1-2 本アプリケーションのアーキテクチャ（Windows 版及び Mac 版）	-	PC版アプリについて、ARM版Windowsへの対応は要件に含まれるでしょうか。	見横範囲を明確にするため	含まれていません。
3	確認・質問	調達仕様書（案）.pdf	4	3.1.	現行事業者が作成した各種ドキュメント、システム環境やツール類を引き継ぎ、並行して運用計画や資材を準備しながら、運用・保守業務を協業で実施する。	新事業者が引き継ぐ「各種ドキュメント、システム環境やツール類、資材」の種類、数量をご教示いただけないでしょうか。	引継ぎ作業量の明確化のため	主なものとしては、以下とおり想定しています。 ・運用保守設計書：60ページ程度 ・運用保守マニュアル：50ページ程度 ・その他作業項目・OSごとの手順書（動作確認試験手順書など）：10ページ以内のもの ・システム設計書類（機能設計書、メッセージ設計書、テスト関連ドキュメント等）15ファイル程度
4	確認・質問	調達仕様書（案）.pdf	5	3.2	4月は現行事業者がメインとなって業務を実施しながら引き継ぎ期間であり、5月1日からは受注者がメインとなって業務を実施する期間として想定している。	引継ぎ期間（4月、5月～6月）における現行業者と受注者の役割分担や引継ぎ条件(対面会議の可否等)をご教示いただけないでしょうか。	見横範囲を明確にするため	(役割分担について) 第一義的には、4月以降の運用・保守業務の主体は、あくまでも本件受注者（新事業者）と位置付けます。ご指摘のありました4月末までと5月以降とで区分けて記載した部分は、想定される一例を記載したものでしたが、当庁から具体的な役割分担を指定したかのような記載となっている可能性がありますので、修正を検討します。  (引継ぎ条件について) 4月から6月までの期間は、現事業者から、引継ぎなどの支援が受けられるよう所要の対応を取ることとします。具体的には、オンラインによる週次のフォローアップ会議等によって質疑に適宜対応することなど、下記に掲げる内容などを想定しています。  ①ドキュメント 運用・PC保守・保守の現行作業を新事業者へ引継ぐための資料及びその内容説明（ドキュメント、説明会（6回程度）、それらに関するQA対応（6～7件/月、計20件程度））。  ②運用・保守作業引継ぎ 運用・PC保守・保守の現行作業についてのQA対応及びフォロー。オンラインによる実施とし、新事業者が手順書・ソースコード等のドキュメントを通読した後、不明点に対しオンラインMTGやメールによるQAを実施。 ・【運用】QA対応（16～17件/月、計50件程度）、オンラインフォロー（6回程度） ・【保守】QA対応（6～7件/月、計20件程度）

項番	種類	該当資料名	頁数	章番号等	仕様書等の記載内容	意見又は修正案の内容	意見又は修正案の提出理由	回答
5	確認・質問	調達仕様書(案).pdf	10,11	4.2.2	<p>コ 保守環境の維持</p> <p>開発環境</p> <p>Win: VisualStudio、Mac: Xcode</p>	<p>VisualStudioは必要となるエディションはProfessional以上の認識で問題ないでしょうか。その場合は、「別紙1」の「サービス利用料、物品等」にVisualStudioのライセンス使用料も追加すべきでないでしょうか。</p>	<p>VisualStudioの必要となるエディションを確認したため。</p>	<p>Professionalを使用しています。</p> <p>なお、調達対象として調達仕様書の別紙1に追記します。</p>
6	確認・質問	調達仕様書(案).pdf	10,11	4.2.2	<p>コ 保守環境の維持</p> <p>開発言語</p> <p>Win: C++、Mac: Objective-c</p>	<p>使用しているフレームワークやライブラリ等をご教示頂けないでしょうか。特にC++は範囲が広いためご教示頂きたいです。(例)MFC、C++/CLI</p>	<p>必要となるスキルを確認したため</p>	<p>以下のとおりです。</p> <p>【Mac】ライブラリ: 無 フレームワーク: Cocoa</p> <p>【Win】ライブラリ: WTL</p>
7	確認・質問	調達仕様書(案).pdf	12	4.2.2	<p>(5) 軽微な改修</p> <p>運用・保守の期間中に必要となる軽微な改修として以下を実施すること。</p>	<p>貴庁の類似案件では「改修への対応工数(必要に応じて教育訓練等を含む)として、各月●●人月(12ヶ月で計約〇〇人月)の作業を見込むこと。」の要件もございましたが、本案件も同様に改修工数を要件として明示いただくことは可能でしょうか。</p>	<p>見横範囲を明確にするため</p>	<p>改修の対象として、調達仕様書別紙1の⑩⑪が主に該当しますが、月当たり0.6人月(年間の7人月相当)の工数を見込みます。</p> <p>全ての作業の想定工数を、調達仕様書の別紙1に記載します。</p>
8	確認・質問	調達仕様書(案).pdf	12	4.2.2	<p>(6) クラウドサービスの保守要件</p> <p>クラウドサービスで利用している環境の最新化や更新は、原則としてIaC(Infrastructure as Code)を活用しコードを変更し、変更後のコードを実行することにより実施すること。</p>	<p>IaCで使用しているツールをご教示頂けないでしょうか。(例)AWS CDK</p>	<p>必要となるスキルを確認したため</p>	<p>現状でIaCを使用しているツールはありません。なお、当該項番はクラウドを使用する場合の制限事項を記載したものであり、クラウドサービスの利用を必須とするものではありませんので、念のため申し添えます。</p>
9	確認・質問	調達仕様書(案).pdf	14	4.6	<p>(2) 次期の運用・保守事業者に対し、運用・保守の業務を通じて使用もしくは新たに作成されたデータ及びドキュメント(データには、チケット管理等で使ったツール及びそのデータを含む。)を引き継ぐこと。その際、政府が指定するガバメントクラウド上のAWSでの構築を想定すること。</p>	<p>ガバメントクラウド上のAWS構築は具体的にどのようなことを想定しているかご教示いただけないでしょうか。</p> <p>別紙1にはAWS用途として「SP-TSMスタブ環境」という記載がありますが、左記記載によると業務を通じて使用もしくは新たに作成されたデータ及びドキュメントの管理や引継ぎにガバメントクラウドを用いるような記載に見受けられます。</p>	<p>ガバメントクラウドの用途を確認したため</p>	<p>「4.6項のAWS」は、次期の運用・保守事業者に対する引継ぎにおいて利用する「ガバメントクラウド上のAWS」に限定して記載したものであることから、業務全般を通じたガバメントクラウド利用について記載したものではないことをご理解願います。</p> <p>その上で、別紙1において「SP-TSMスタブ」について記載したところでしたが、本件調達に参加する事業者はJ-LISが提供するテスト環境を利用すれば事足りると考えられますので、SP-TSMスタブの記載は仕様書から削除します。</p>
10	確認・質問	調達仕様書(案).pdf	14	4.6	<p>(4) 引継ぎに必要な経費は、本調達の経費に含めること。</p>	<p>次期の運用・保守事業者への引継ぎは、別途契約を締結し次年度に行うこととあるため、ここでの「本調達」は次年度の契約ととらえましたが、認識相違ないでしょうか。</p>	<p>見横範囲を明確にするため</p>	<p>次期の運用・保守事業者への引継ぎについて別途契約とするかどうかについては、次々年度における契約に関するものであり、現段階で決定することはできませんので、仕様書における該当の記載箇所は削除する修正を行います。</p> <p>その上で、次期の運用・保守事業者への引継ぎが円滑に実施されるためには、令和7年度中から対応を行っていただくことが想定されますので、それに要することが見込まれる経費については、本調達の経費に含めてください。</p>

項番	種類	該当資料名	頁数	章番号等	仕様書等の記載内容	意見又は修正案の内容	意見又は修正案の提出理由	回答
11	確認・質問	調達仕様書(案).pdf	17	5.1.	表5 本業務における組織等の体制と役割 統括責任者(PJ 管理者) 本業務の委託期間中、1名による専任で これに当たるものとする。	貴庁の類似案件では「統括責任者は専任または兼任で1名」の要件もございましたが、本案件も同様に兼任可能に出来るでしょうか。	見横範囲を明確にするため	兼任は不可とします。
12	意見	調達仕様書(案).pdf	17	5.2	(1) 総括管理者(PJ 管理者)	以下の表記が正しいと考えますが、いかがでしょうか。 「(1) 統括管理者(PJ 管理者)」	他の箇所では「統括管理者」と記載されておりますが、当該箇所のみ「総括管理者」と記載されているため、全体整合性の観点から修正すべきと考えます。	「総括責任者」は誤記載でしたので、「統括責任者」に統一するよう仕様書を修正します。
13	確認・質問	別紙1.pdf	1	別紙1「業務一覧、物品一覧」	⑥新端末、新機種、新CPU等検証 OSS脆弱性検知作業(スマホJPKI)	OSS脆弱性検知作業(スマホJPKI)とありますが、本案件における脆弱性検知対象となる導入OSSをご教示ください。	見横範囲を明確にするため	Springboot等、数十件のOSSを導入しており、脆弱性検知サービスを利用して自動で検知しています。
14	確認・質問	別紙1.pdf	1	別紙1「業務一覧、物品一覧」	⑥新端末、新機種、新CPU等検証 OSS脆弱性検知作業(スマホJPKI)	当該OSSは事業者ではなく貴庁にて入手いただける理解でよろしいでしょうか。	見横範囲を明確にするため	当庁で用意しますので、別途のご用意は不要です。
15	確認・質問	別紙1.pdf	1	別紙1「業務一覧、物品一覧」	⑥新端末、新機種、新CPU等検証 OSS脆弱性検知作業(スマホJPKI)	現行の脆弱性検知作業において、検知ソフトウェア等の利用はあるでしょうか。現行業務の引継ぎを確実なものとするために、脆弱性検知作業に限らず、現行事業者にて引継ぎ前提となる利用ソフトウェア等がありましたらご提示をお願いします。	見横範囲を明確にするため	脆弱性検知作業に関し現事業者はSnykを利用しています。 なお、これ以外に関するソフトウェアについては、仕様書の別紙1内に記載しています。
16	確認・質問	別紙1.pdf	2	別紙1「業務一覧、物品一覧」	2.AWS利用料、回線費、データ授受用外部ストレージ利用費等 ※AWSは開発環境でのSP-TSMスタブ用の環境として利用	左記AWS(SP-TSMスタブ用の環境)/回線/外部ストレージ環境について、4月の運用準備/保守設計期間に構築完了が必要となる認識ですが、構築要件/パラメタ定義/構築手順等のドキュメントをご提示いただける認識でよいでしょうか。特に回線は敷設までのリードタイムが必要なため、事前に詳細要件をご提示いただく必要があると存じます。	見横範囲を明確にするため	No8のとおり、SP-TSMスタブは不要とします。
17	確認・質問	別紙1.pdf	2	新事業者が担う作業と他の主体との作業切り分け	●(新事業者がすべてを行う作業対象)	スマホ版のiOSとAndroidの「保守>その他」に●が付いていますが、「その他」とは別紙1「業務一覧、物品一覧」の⑧~⑭のどれに相当するでしょうか。	見横範囲を明確にするため	新事業者に担っていただくものは⑧⑨⑩、当庁が担うものは⑪⑫⑬、テスト事業者が担うものは⑭(そのほか⑬の一部も想定)としますので、この点を明確化するよう仕様書の記載を修正します。 なお、PC版については、⑩⑪⑫⑬も新事業者に担っていただきます。